

緑友会だより

発行責任者
 緑園南・北緑友会
 南)会長 根本 暉
 北)会長 大野恵美子
 編集責任者
 大沼 敏章
 Tel 045-811-1580



「今年は『寅年』です」

南緑友会会長 根本 暉

明けましておめでとうございます。今年も皆様に御挨拶申し上げます。お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、緑友会の事業・活動に深いご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。本年も引き続きご支援下さいます様宜しくお願い申し上げます。

一昨年(2020年)1月に新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認された以降、世界的な規模で感染が拡大しました。国内でも、デルタ株を中心に新型コロナウイルスの第5波が猛威を振るいました。再三にわたり、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発出されたことにより、生活環境、社会の仕組み、人々の生活の仕方にまで甚大な影響を受けるなど、私達もかつて経験したことのない日常を余儀なくされました。

国内でワクチン接種が進んだことなどにより、1日2万人を超える新規感染者が報告された8月前半までは状況が一変し、8月後半からの感染者減は多くの人の想定を超える速さでした。ワクチン接種が進んだ他の国の感染再拡大も伝わるなかで、国内の減り方が際立っています。(本当の理由は不明です)参考までに2022年1月12日現在の新型コロナウイルス感染者・死者数(概数)は以下の通りです。

- 感染者数
 (世界) 313,499千人
 (国内) 1,793千人
- 死者数
 (世界) 5,504千人
 (国内) 18千4百人

コロナ禍がこの先どう転ぶのか分かりません。私達は、手指洗い、マスク着用、密集回避、換気、消毒など基本的な感染対策を継続して実施すること大切ですね。今年も令和になつて4年目に入り、干支は壬寅(みずのえとら)で

すが、ただの「寅年」ではありません。ちょうど「五黄の寅」になっています。これは九星と称する中国の民間信仰と十二支を組み合わせたもので、最小公倍数が36になります。つまり36年に一度、言い換えれば寅年の3回に1回が「五黄の寅」になります。今年生まれの人、今年36歳になる人、さらに72歳になる人が「五黄の寅」です。最近では長生きなので、108歳の人もいるかと思われまます。

そもそも「五黄」とは、星は土星・方角は中央ということで、運氣が高いとされています。ですから「五黄の寅」に生まれた人は、強運と強いパワーの持ち主なのです。特に女性は、社会で活躍する人が多いとされています。芸能人では沢尻エリカ・石原さとみ・北川景子・杏・安藤サクラ・上野樹里・和田アキ子・八代亜紀・ジュディオングとして由美かおる等が該当者です。男性では、中村倫也・本田圭佑・亀梨和也・山崎育三郎・館ひろし・池上彰・梅沢富美男・三遊亭円楽・細川たかし・そして綾小路きみまろなどの名があがっています。

私は、昭和13年生まれで今年が年男ですが、「五黄の寅」ではありません。ちなみに、「男はつらいよ」の車寅次郎も、その名前から寅年生まれかと思いきや、そうではなく「とらや」の軒先に捨てられていたことから「寅次郎」と命名されたそうです。

ついでに、虎にまつわる話について：すぐに思い浮かぶのは「虎穴に入らずんば虎児を得ず」「虎の威を借る狐」「虎視眈々」「前門の虎、後門の狼」「虎は死して皮を残し、人は死して名を残す」「千里の野に虎を放つ」「張子の虎」「虎の巻」「竹に虎」「虎に翼」などです。

最後にもう一つ、「猫でない証拠に竹を描いておき」という川柳は、絵が下手な人が虎を書き、猫と間違われたいように竹を書き添えたということですが、もちろん虎と猫はネコ科なのでよく似ています。世界を見渡すと、干支の虎が本来は獅子(ライオン)だったとか、虎ではなく豹や猫になっていたものもあります。猫が干支に入っていないのはけしからんという人は、虎の中に猫も含まれていると思っして下さい。(出处：同志社女子大学 日本語日本文学科 吉海直人特任教授)

「新年明けましておめでとう」

北緑友会会長 大野恵美子

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年、一昨年と新型コロナウイルスにより緑友会の事業・活動も中止となり、毎月の定例会とさわやかクリン運動の清掃活動のみ実施してまいりました。今後少しずつ活動ができるように、皆様のご協力を得て本年も引き続きご支援くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

緊急事態宣言やまんえん防止等重点措置活動制限期間中、皆様はいかがお過ごしでしたか？私は毎日のように大池公園を散歩していました。11月頃になると北から渡り鳥のキンクロハジロが30羽程飛んできて、4月頃までいます。池のまわりにはカワセミを写そうと望遠カメラを持った人達が増えてきました。キツツキの赤ゲラ、青ゲラも運がいいと見つけられます。2月の梅、4月の桜、秋の紅葉と楽しめます。



キンクロハジロ

話がかわりますが、昨年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公沢栄一に因り、昨秋の紅葉と楽しみました。沢栄一(岐阜市黒野)出身で地元でもあまり知られていなかった初代大蔵省次官の父 郷 純造と実業家の次男誠之助親子を紹介し、その前にご存知の方のために沢栄一の略歴をご紹介します。沢栄一は現・埼玉県深谷市の農家に生まれ、家業の畑作、藍玉の製造・販売、養蚕を手掛けながら父に学問の手ほどきを受け、後に本格的に「論語」を学びました。

「尊王攘夷」思想の影響を受け京都に赴き一橋慶喜(後の第十五代将軍徳川慶喜)に仕え認められ、明治維新の新政府要人に随行して帰国。明治新政府の大蔵省の一員として新しい国造りに深く関わりました。大蔵省を辞してから

「退会された方」

藤田 修子 (北緑友会)

令和三年八月二十九日逝去されました。カラオケでは年歌の入った英語の歌



郷 純造

大隈重信にすすめた。大隈重信は後に「大蔵省の人材を求めている」と郷純造君が洋行帰りの沢栄一を推薦してきた。郷氏なかなか人物を見る眼があった。氏のすすめで来た人物は皆よかった。」と語る。(明治42年「実業之日本」より)



日本ビジネス電子版より

民間経済人として活躍、第一国立銀行を拠点に生涯に約500の企業の育成に係わり、同時に約600の社会公共事業の外交に携わったといわれている。その功績を讃え、「新一万円札」に肖像が登場します。郷純造は大蔵省に沢栄一や前島密らの登用を大隈重信に推薦した人物です。

「緑友会の主な活動(五月以降)」

五月二十二日「さわやかクリン運動」で自治会館・クラブハウスの花壇の植栽及び緑園都市駅・自治会館間の道路清掃

- 五月二十二日「さわやかクリン運動」で自治会館・クラブハウスの花壇の植栽及び緑園都市駅・自治会館間の道路清掃
- 六月二十日「定例会」及び4ヶ月誕生月の方々にお赤飯配布
- 六月三十日「さわやかクリン運動」で自治会館・クラブハウスの花壇の手入れ及び緑園都市駅・自治会館間の道路清掃
- 七月十八日「定例会」
- 七月三十一日「さわやかクリン運動」で自治会館・クラブハウスの花壇の手入れ、及び緑園都市駅・自治会館間の道路清掃
- 八月十五日「定例会」
- 八月三十一日「さわやかクリン運動」で自治会館・クラブハウスの花壇の手入れ、及び緑園都市駅・自治会館間の道路清掃
- 九月十九日「定例会」及び七月九日誕生月の方々にお赤飯配布
- 九月三十日「さわやかクリン運動」で自治会館・クラブハウスの花壇の手入れ及び緑園都市駅・自治会館間の道路清掃
- 十月十七日「定例会」
- 十月二十三日「さわやかクリン運動」で緑園都市駅・自治会館間の道路清掃及びクラブハウスの自治会館の花壇の植栽



